

第1ステージ終了、大同特殊鋼が全勝で首位

～ 第30回日本ハンドボールリーグ第7週～

第30回日本ハンドボールリーグ第7週は、愛知県、埼玉県、福井県で男子のみ3試合が行われ、トップを走る大同特殊鋼はホンダを破って、開幕からの連勝を6に伸ばした。

大同特殊鋼・ホンダ戦は、大同・高木、ホンダ・四方と両GKが好守を見せ、引き締まった試合となった。白元詰の7mTで先制した大同が5分4-1とリードするものの、ホンダは四方のセーブから、横地らが得意の速攻につなげ、4連打で逆転に成功する。大同も持ち前の速いテンポの攻めで反撃の態勢を整えると、白、末松、山本らで19分10-5と再逆転、以降は大同のペースで試合が進んでいく。

16-11と5点リードで後半に入った大同は、白のミドル、末松のカットインなどで着実に得点を重ねていき、後半21分には30-22と差を広げた。成長著しいポスト中谷の中央突破、加藤の7mTなどで必死の追撃を見せるホンダには大同GK高木が立ちはだかる。ホンダが追い上げムードになるたびに、再三の好守で流れを大同に取り戻した高木。頼れる守護神の活躍もあり、ホンダの終盤の反撃を危なげなくしのいだ大同が35-30でホンダを破り、唯一の全勝を守った。

その大同を追う大崎電気と湧永製薬は埼玉で激突。大崎は太田、湧永は東が好調、前半8分5-5と互角の立ち上がりとなった。その後も一進一退の展開が続いたが、湧永にアクシデントが発生、前半なかばすぎに東が右手を痛めて、戦線離脱を強いられる。得点源を欠いて苦しい状況となった湧永に対して、大崎は、GK濱口を軸とした堅守からエース宮崎の得点などで17-15と一歩抜け出して、前半を折り返した。後半、湧永も左腕・小沢、キャプテン小藪らで食らいついたが、大崎は、この日12得点と大活躍の宮崎を軸に差を広げ、残り9分9点リードと安全圏に入った。その後、大崎に退場者が続出したこともあり、湧永の猛追を受け、終了間際には1点差までつめよられたものの、点差以上に余裕が感じられる逃げ切りだった。大崎にとっては、主力の猪妻をケガで欠く中、昨シーズン1勝2敗と相性の悪かった湧永からの貴重な白星となり、大同追撃のムードは高まりそうだ。

愛知ではトヨタ車体とトヨタ紡織九州が対決。トヨタ紡織・村上(秀)のサイドシュートで幕を開けた試合は、両チームともクイックスタートを駆使する持ち前の速い展開を披露、攻守が目まぐるしく変わる中でお互いが得点を重ね、15-15とまったく互角のまま前半は終了した。後半、抜け出したのはトヨタ車体、崎前、藤田の連続速攻が決まると、GK木下の好守でさらに勢いに乗り、後半15分23-19とした。このリードを最後まで守りきったトヨタ車体が2勝目をマーク。なお、トヨタ車体のエース野村が後半28分の得点で通算500得点の偉業を達成している。

男子は今週で第1ステージが終了、大同特殊鋼が全勝でトップ、1敗の大崎電気、2敗の湧永製薬が追う。3チームの後は、2勝でトヨタ車体、ホンダ、トヨタ紡織九州が並んでおり、プレーオフ進出枠の4位以内を巡る争いは、今後もさらに激化していきそうだ。試合のなかった女子は第5週で第1ステージを終えており、女王・広島メイプルレッズが今年も強さを見せて全勝で首位、オムロン、ソニーセミコンダクタ九州が後に続く展開となっている。



12得点の活躍を見せた大崎電気・宮崎

第8週の日程

[1 部]

11月3日(木) 愛知・東海市民体育館(名鉄常滑線尾張横須賀駅徒歩10分)

高知・高知県民体育館(JR土讃線高知駅徒歩10分)

佐賀・神埼中央公園体育館(JR長崎本線神埼駅徒歩5分)

11月5日(土) 愛知・半田市体育館(名鉄河和線知多半田駅徒歩15分)

鹿児島・ソニーセミコンダクタ九州体育館(JR日豊本線国分駅徒歩20分)

11月6日(日) 佐賀・神埼中央公園体育館(JR長崎本線神埼駅徒歩5分)

熊本・八代市総合体育館(JR鹿児島本線八代駅徒歩15分)

17:00~(男) 大同特殊鋼×トヨタ車体

13:00~(男) 湧永製薬×ホンダ熊本

11:00~(男) トヨタ紡織九州×ホンダ

11:00~(女) HC名古屋×メイプルレッズ

13:30~(男) トヨタ車体×ホンダ

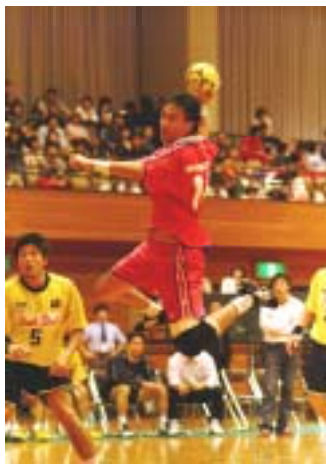
14:00~(女) ソニー×オムロン

14:00~(男) トヨタ紡織九州×大崎電気

14:00~(男) ホンダ熊本×大同特殊鋼

[2 部]

11月6日(日) 愛知・豊田合成㈱健康管理センター 13:00~ 豊田合成×北陸電力



2勝目をマークしたトヨタ車体・長谷川

10月14日(金) 男子1部 愛知・知立市福祉体育館			
トヨタ車体	30	トヨタ紡織九州	25
2勝0分4敗	(15 - 15)	2勝0分4敗	(15 - 10)
K 木 下	中 畠	4/ 8	
1/ 4 佐々木	村上直	2/ 5	
0/ 0 辻	植 木	0/ 0	
0/ 0 新 美	村上秀	4/ 7	
2/2 5/12 野 村	呉相民	4/ 9	
0/ 0 竹 下	佐久間	1/ 2	
3/ 4 北 出	鶴 田	0/ 0	
<0/2> K 田 平	田中慎	0/ 2	
0/ 0 清水	阪 0/ 0		
1/ 1 長谷川	谷 川	K <0/1>	
9/16 香 川	石 黒	0/ 2 2/2	
3/ 5 崎 前	松 野	K <0/1>	
4/ 5 藤 田	朴正鎮	6/ 8	
2/ 2 鶴 谷	藤 山	2/ 4	
2/2 28/49	4(FPP)11	23/47 2/2	
審判 (青木・根来)	観客 856人		

第8週の見どころ

このあと第30回日本リーグは国民体育大会(10月22~27日・岡山県)のプレイクをはさんで11月3日から熱戦が再開される。ここまで男子は各チームとも6試合を消化して第1ステージを終了、大同特殊鋼が故障者を抱えながらもベテラン左腕・趙範衍やルーキーコンビ武田、徳久川の活躍などで開幕からの連勝を6に伸ばし、これに1敗の大崎電気、2敗の湧永製薬が続いて上位グループを形成している。女子はV8を狙う広島メイプルレッズがスキのない戦いぶりです連勝を飾り、相変わらずの充実感が光る。

第8週は愛知などで男子6試合、女子2試合が組まれており、男子では大同特殊鋼がトヨタ車体、ホンダ熊本の挑戦を受ける。この第7週でトヨタ紡織九州を突き放して上昇気運のトヨタ車体がどんなチャレンジぶりを見せるかに注目したい。大崎電気はトヨタ紡織九州戦を確実にものにして大同追撃の足場を固めたいところだ。女子2試合のうち、広島メイプルレッズ・HC名古屋戦は、女王の堅城にゆるぎはなく、ソニーセミコンダクタ九州・オムロンの2番手争いに焦点が絞らう。第5週で28・25と競り勝ったオムロンが賞禄を示すか、それともソニーが雪辱を果たして首位戦線に踏みとどまるか。いずれにしてもスピーディな競り合いが期待される。

10月15日(土) 男子1部 埼玉・三郷市総合体育館			
大崎電気	32	湧永製薬	31
5勝0分1敗	(17 - 15)	4勝0分2敗	(15 - 16)
3/ 6 豊 田	下 川	7/ 9	
1/ 2 加 藤	小 野	0/ 1	
3/3 0/ 0 前 田	浜 本	2/ 3 1/1	
0/ 0 佐 藤	福 田	0/ 0	
2/ 3 永 島	吉 田	1/ 1	
2/ 4 岩 本	小 薮	4/ 7	
1/1 0/ 0 森 本	東 2/ 4	1/1	
5/ 9 太 田	坪 根	K <0/2>	
0/ 0 酒 井	小 沢	4/10 2/3	
<1/2> K 濱 口	杉 山	0/ 2	
3/ 3 東 村	K 村	<0/2>	
<0/3> K 石 原	古 家	2/ 7	
0/ 0 猪 妻	渡 辺	0/ 0	
12/15 宮 崎	口 5/ 7		
4/4 28/42	13(FPP)7	27/51 4/5	
審判 (小林・土屋)	観客 887人		

10月16日(日) 男子1部 福井・大飯町総合運動公園体育館			
大同特殊鋼	35	ホンダ	30
6勝0分0敗	(16 - 11)	2勝0分4敗	(19 - 19)
<1/3> K 荻 田	中 谷	5/ 5	
8/15 趙範衍	鶴 見	3/ 4	
6/10 末 松	柳 本	0/ 0	
0/ 0 1 峯 村	河 瀬	0/ 0	
0/ 0 0 谷 村	竹 田	0/ 0	
0/ 0 市 原	横 地	4/ 9	
4/ 4 武 中	加 藤	2/ 5 3/3	
2/ 2 2 畠 中	青 山	0/ 0	
0/ 0 大 田	野 嶋	5/ 7 0/1	
0/ 0 渡 邊	阿 部	0/ 1	
<0/1> K 高 木	吉 井	K	
2/ 2 山 本	小 倉	5/11	
8/15 白元詰	羽 賀	3/ 6	
3/ 4 渡久川	四 方	K <0/2>	
2/2 33/53	5(FPP)9	27/48 3/4	
審判 (仲田・植村)	観客 310人		

男子2部 初対決は北電に軍配

男子2部注目のライバル対決第1ラウンドは北陸電力がHC東京の追撃を振り切り、3戦全勝で単独トップに立った。

前半は7mTを5本とも決めた桜井の活躍などで14・11と北陸電力が3点リードで終了した。後半は互いにシュートミスなどで思うように加点できずロースコアの展開。

10分過ぎからジリジリと得点を重ねた北陸電力は、その後も落合が速攻を決めて15分19・14と5点リードを奪い、五島、武藤らのシュートで懸念に粘るHC東京の追撃を振り切って23・21で勝利を握った。

10月16日(日) 男子2部 福井・大飯町総合運動公園体育館			
北陸電力	23	HC東京	21
3勝0分0敗	(14 - 11)	1勝0分1敗	(9 - 10)
K 西 田	三 坂	0/ 0	
3/ 7 高 橋	武 藤	1/ 2 3/3	
3/ 7 神 田	伊 藤	1/ 3	
4/ 5 落 合	泉	1/ 3	
7/7 2/ 5 桜 井	宇田川竜	K <0/3>	
1/ 3 前 田	水 野	7/11	
2/ 3 高 山	木 村	2/ 2	
1/ 1 杉 田	須 藤	0/ 0	
0/ 2 北 村	宇田川敏	K <0/4>	
0/ 0 表	五 島	2/ 2	
K 安 藤	古 川	4/ 8	
<0/3> K 有 江	飯 島	0/ 0	
	堤	0/ 0	
	石 井	0/ 0	
7/7 16/33	14(FPP)5	18/31 3/3	
審判 (佐々木・高原)	観客 225人		

2部個人賞レース 第7週終了

得点王

1 福田 拓馬	(トヨタ自動車)	25点	(3試合)
2 神田 友和	(北陸電力)	22点	(3試合)
3 桜井 涉	(北陸電力)	19点	(3試合)
4 水野 裕矢	(HC東京)	14点	(2試合)
5 高田 哲志	(北陸電力)	13点	(3試合)
6 落合 信也	(北陸電力)	11点	(3試合)
7 倉田 正洋	(トヨタ自動車)	10点	(3試合)
7 佐藤 豪洋	(豊田合成)	10点	(2試合)
9 武藤 崇之	(HC東京)	9点	(2試合)
9 坂口 友博	(トヨタ自動車)	9点	(3試合)
9 大植 剛	(豊田合成)	9点	(2試合)
12 原 貴之	(豊田合成)	8点	(2試合)
12 吉永 英司	(トヨタ自動車)	8点	(3試合)
14 高野 俊也	(トヨタ自動車)	7点	(3試合)
14 前田 亮介	(北陸電力)	7点	(3試合)

フィールド得点賞

1 神田 友和	(北陸電力)	22点	(3試合)
2 水野 裕矢	(HC東京)	14点	(2試合)
2 福田 拓馬	(トヨタ自動車)	14点	(3試合)
4 高田 哲志	(北陸電力)	13点	(3試合)
5 落合 信也	(北陸電力)	11点	(3試合)
6 倉田 正洋	(トヨタ自動車)	10点	(3試合)

6 佐藤 豪洋	(豊田合成)	10点	(2試合)
8 坂口 友博	(トヨタ自動車)	9点	(3試合)
8 大植 剛	(豊田合成)	9点	(2試合)
10 吉永 英司	(トヨタ自動車)	8点	(3試合)
10 桜井 涉	(北陸電力)	8点	(3試合)

シュート率賞

1 落合 信也	(北陸電力)	0.786	11点 /14射
2 水野 裕矢	(HC東京)	0.636	14点 /22射
3 倉田 正洋	(トヨタ自動車)	0.625	10点 /16射
4 高田 哲志	(北陸電力)	0.619	13点 /21射
5 神田 友和	(北陸電力)	0.579	22点 /38射
6 坂口 友博	(トヨタ自動車)	0.529	9点 /17射
7 福田 拓馬	(トヨタ自動車)	0.519	14点 /27射

7mスロー得点賞

1 桜井 涉	(北陸電力)	11点	(3試合)
1 福田 拓馬	(トヨタ自動車)	11点	(3試合)
3 武藤 崇之	(HC東京)	6点	(2試合)
4 原 貴之	(豊田合成)	2点	(2試合)
4 門野 学	(豊田合成)	2点	(2試合)

7mスロー阻止率賞

1 有江 啓	(北陸電力)	0.300	3本 /10射
(7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)			

男女1部個人賞レース 第7週終了

《男子》 《女子》

得点王

1 白 元 喆 (大同特殊鋼)	61 点	(6試合)	1 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	48 点	(5試合)
2 趙 範 衍 (大同特殊鋼)	39 点	(6試合)	2 郭 惠 静 (ソ ニ ー)	40 点	(4試合)
3 宮 崎 大 輔 (大 崎 電 気)	38 点	(6試合)	3 佐藤 由紀恵 (H C 名 古 屋)	34 点	(5試合)
4 香 川 将 之 (トヨタ車体)	35 点	(6試合)	4 田中 美音子 (ソ ニ ー)	31 点	(4試合)
5 下 川 真 良 (湧永製薬)	34 点	(6試合)	5 大 前 典 子 (メイプルレッズ)	26 点	(5試合)
5 末 松 誠 (大同特殊鋼)	34 点	(6試合)	6 中 村 尚 美 (北 国 銀 行)	25 点	(5試合)
5 小 倉 学 (ホ ン ダ)	34 点	(6試合)	7 水 野 恵 子 (オ ム ロ ン)	23 点	(5試合)
8 村 上 秀 行 (トヨタ紡織九州)	33 点	(6試合)	8 水野 由加里 (H C 名 古 屋)	22 点	(5試合)
8 野 村 広 明 (トヨタ車体)	33 点	(5試合)	8 東 濱 裕 子 (オ ム ロ ン)	22 点	(5試合)
10 豊 田 賢 治 (大 崎 電 気)	32 点	(6試合)	10 富 田 有 美 (オ ム ロ ン)	20 点	(4試合)
11 東 俊 介 (大 崎 電 気)	30 点	(6試合)	10 武 井 夏 紀 (北 国 銀 行)	20 点	(5試合)
12 野 嶋 智 次 (ホ ン ダ)	27 点	(6試合)	12 青 戸 あかね (メイプルレッズ)	19 点	(5試合)
12 古 家 雅 之 (湧永製薬)	27 点	(6試合)	12 杉 本 絵 美 (メイプルレッズ)	19 点	(5試合)
12 呉 相 民 (トヨタ紡織九州)	27 点	(6試合)	12 上 町 史 織 (北 国 銀 行)	19 点	(5試合)
12 櫛 田 亮 介 (ホンダ熊本)	27 点	(6試合)	15 佐久川 ひとみ (オ ム ロ ン)	18 点	(5試合)

フィールド得点賞

1 白 元 喆 (大同特殊鋼)	45 点	(6試合)	1 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	34 点	(5試合)
2 宮 崎 大 輔 (大 崎 電 気)	38 点	(6試合)	1 郭 惠 静 (ソ ニ ー)	34 点	(4試合)
2 趙 範 衍 (大同特殊鋼)	38 点	(6試合)	3 佐藤 由紀恵 (H C 名 古 屋)	27 点	(5試合)
4 下 川 真 良 (湧永製薬)	34 点	(6試合)	4 大 前 典 子 (メイプルレッズ)	26 点	(5試合)
4 末 松 誠 (大同特殊鋼)	34 点	(6試合)	5 水 野 恵 子 (オ ム ロ ン)	22 点	(5試合)
4 小 倉 学 (ホ ン ダ)	34 点	(6試合)	5 水野 由加里 (H C 名 古 屋)	22 点	(5試合)
7 村 上 秀 行 (トヨタ紡織九州)	33 点	(6試合)	5 東 濱 裕 子 (オ ム ロ ン)	22 点	(5試合)
8 豊 田 賢 治 (大 崎 電 気)	32 点	(6試合)	8 田中 美音子 (ソ ニ ー)	21 点	(4試合)
9 東 俊 介 (大 崎 電 気)	30 点	(6試合)	9 武 井 夏 紀 (北 国 銀 行)	20 点	(5試合)
10 香 川 将 之 (トヨタ車体)	28 点	(6試合)	10 青 戸 あかね (メイプルレッズ)	19 点	(5試合)
			10 上 町 史 織 (北 国 銀 行)	19 点	(5試合)

シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 東 俊 介 (大 崎 電 気)	30点/ 43射 0.698	1 水 野 恵 子 (オ ム ロ ン)	22点/ 31射 0.710
2 下 川 真 良 (湧永製薬)	34点/ 50射 0.680	2 大 前 典 子 (メイプルレッズ)	26点/ 41射 0.634
3 豊 田 賢 治 (大 崎 電 気)	32点/ 49射 0.653	3 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	34点/ 55射 0.618
4 宮 崎 大 輔 (大 崎 電 気)	38点/ 61射 0.623	4 水野 由加里 (H C 名 古 屋)	22点/ 36射 0.611
5 村 上 秀 行 (トヨタ紡織九州)	33点/ 55射 0.600	5 田中 美音子 (ソ ニ ー)	21点/ 36射 0.583

7 mスロー得点賞

1 白 元 喆 (大同特殊鋼)	16 点	(6試合)	1 富 田 有 美 (オ ム ロ ン)	20 点	(4試合)
2 石 黒 将 之 (トヨタ紡織九州)	7 点	(6試合)	2 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	14 点	(5試合)
2 香 川 将 之 (トヨタ車体)	7 点	(6試合)	3 吉 田 祥 子 (オ ム ロ ン)	10 点	(3試合)
2 小 沢 勝利 (湧永製薬)	7 点	(5試合)	3 田中 美音子 (ソ ニ ー)	10 点	(4試合)
5 森 本 彰 宏 (大 崎 電 気)	6 点	(6試合)	5 中 村 尚 美 (北 国 銀 行)	9 点	(5試合)
5 野 村 広 明 (トヨタ車体)	6 点	(5試合)			
5 野 嶋 智 次 (ホ ン ダ)	6 点	(6試合)			
5 前 田 誠 一 (大 崎 電 気)	6 点	(6試合)			

7 mスロー阻止率賞 (7 mスローを受けた数が、チームの試合数以上のG Kが対象)

1 田平 龍太郎 (トヨタ車体)	8本/ 17射 0.471	1 高 森 妙 子 (メイプルレッズ)	4本/ 9射 0.444
2 濱 口 靖 (大 崎 電 気)	3本/ 8射 0.375	2 田代 ひろみ (北 国 銀 行)	9本/ 23射 0.391
3 吉 井 丈 晴 (ホ ン ダ)	4本/ 14射 0.286	3 吉 村 あゆみ (H C 名 古 屋)	3本/ 8射 0.375
3 谷 川 一 寿 (トヨタ紡織九州)	2本/ 7射 0.286	4 勝 田 祥 子 (オ ム ロ ン)	4本/ 13射 0.308
3 高 木 尚 (大同特殊鋼)	2本/ 7射 0.286	5 木 澤 尚 子 (北 国 銀 行)	3本/ 12射 0.250

第30回日本ハンドボールリーグ成績表

第7週終了 10月16日

順位	1部男子	大同特殊鋼	大崎電気	湧永製薬	トヨタ車体	ホンダ	トヨタ紡織九州	ホンダ熊本	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼		33	32	37	35	37	32	6	6	0	0	12	206	174	32
2	大崎電気	32		32	39	41	29	32	6	5	0	1	10	205	170	35
3	湧永製薬	31	31		28	28	25	25	6	4	0	2	8	168	148	20
4	トヨタ車体	30	20	24		25	30	31	6	2	0	4	4	160	184	-24
5	ホンダ	30	32	21	27		30	33	6	2	0	4	4	173	185	-12
6	トヨタ紡織九州	31	28	24	25	32		31	6	2	0	4	4	171	177	-6
7	ホンダ熊本	20	26	15	28	24	26		6	0	0	6	0	139	184	-45

順位	1部女子	メイブルレス	オムロン	ソニー	北国銀行	H C名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	広島メイプルレス		30	42	32 30	28	5	5	0	0	10	162	133	29
2	オムロン	27		28	30	38 35	5	4	0	1	8	158	107	51
3	ソニーセミコンダクタ九州	37	25		34	39	4	2	0	2	4	135	123	12
4	北国銀行	27 18	21	31		29	5	1	0	4	2	126	146	-20
5	H C 名古屋	24	20 11	22	20		5	0	0	5	0	97	169	-72

順位	2部男子	北陸電力	H C 東京	トヨタ自動車	豊田合成	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北陸電力		23	28	29	3	3	0	0	6	80	63	17
2	H C 東京	21		24		2	1	0	1	2	45	43	2
3	トヨタ自動車	24	20		28	3	1	0	2	2	72	77	-5
4	豊田合成	18		25		2	0	0	2	0	43	57	-14

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。